わずか40分で助かる命がある

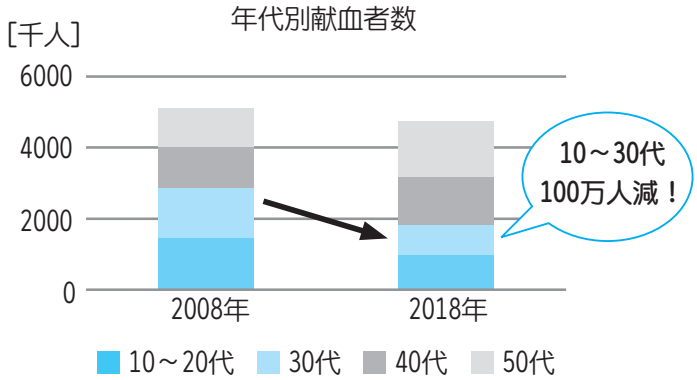
問合せ　保健センター☎72-2500

知っていましたか？
10～30代の献血者数がこの10年で100万人も減少しています

2008年、10～30代の献血者数は約284万人でした。それから10年後の2018年になると、10～30代の献血者数は約180万人と、この10年間で約100万人も減少してしまいました。

日本の献血可能な10～30代(16～39歳)の人口は、約3,196万人と言われていますが、今後ますます少子化が進み、著しく減少していくことが予想されます。

このままのペースで10～30代の献血者数が減っていくと…。若い世代の人口が減る一方で、輸血を必要とする高齢者の割合はますます増えることから、血液を安定的に供給するためには、今まで以上に、みなさんからの献血へのご協力をいただく必要があります。



献血って？いろいろな疑問にお答えします

Q いつも献血をお願いしてるのはなぜ？

A 科学の発達した現在でも、血液を人工的に作り出すことはできません。安定して血液を供給するには、献血していただくほかないのです。

Q 献血した血液は、なにに使われているの？

A 必要な人へ輸血をしたり、血液を使って薬も作っています。

Q 献血はいつからできるの？

A 献血の種類によってできる年齢がかわります。

献血量や種類によって、献血ができる年齢や体重が異なります。下記の表を参考にしてください。また、今年度町内で実施する献血は400mL全血献血のみになります。

	全血献血		成分献血	
	200mL全血献血	400mL全血献血	血漿成分献血	血小板成分献血
年齢	16～69歳※	男性:17～69歳※ 女性:18～69歳※	18～69歳※	男性:18～69歳※ 女性:18～54歳
体重	男性:45kg以上 女性:40kg以上	男女とも50kg以上	男性:45kg以上 女性:40kg以上	

※65～69歳の人は、60～64歳の間に献血経験がある人に限る